

アカゲラ (キツツキ科) 全長 23.5センチ

なにもかも真っ白い季節に入りました。

1週間も雪が降り続くと、さすがに野鳥達の姿がほとんど見かけなくなります。地吹雪が通り抜ける雑木林の中は、カラスの姿すら見えません。

しかし、いつとき風が弱まると見通しがよくなります。

遠くから「キョッ、キョキョキョ」と鳴き声が聞こえると、林の中を波のように上下しながら飛翔するアカゲラが横切りました。

胡桃の幹に垂直にとまり、右に左に廻りながらドラミングの場所を品定めしているようです。



下腹部と頭頂の赤が目立ちます。(オス)

見事な連打をしながらあちこちの樹木をつつき廻っていたのに、まだ食い足りないのか木から草本のアメリカセンダングサに飛び移っていきました。



ドラミングの時、反動で体が跳ね飛ばされないよう、爪でしっかりと体を支えます。(オス)



背中には逆八の字がありました。(メス)

他の野鳥たちがじっと身をひそめる悪天候でも、活発な行動力で林の中を動き回っています。

アカゲラの赤いお腹はモノトーンの景色の中でよく目立ち、殺風景な真冬の裸木に彩を添えています。



枝下からのドラミングでも、落っこちることはありません。(オス)



赤、白、黒の配色は、着物の柄を連想させます。(メス)

白黒の縞模様は着物の柄を連想させ、顔の黒い隈取りは歌舞伎役者のようで、厳冬の舞台に真打が登場した姿に見えました。